

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 月 1	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 Comprehensive English		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 2Ta	科目分類 外国語科目(英語)		
担当教員: 井石 令子 / Eメールアドレス: iwaki@kwassui.ac.jp / 研究室: 非常勤講師控室 / オフィスアワー: 月曜日 10:20-10:30(授業終了後), 12:00-12:50			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 2006年5月に導入された新方式 TOEIC の受験対策を行うとともに、総合的英語コミュニケーション能力を高めることを目指す。</p> <p>授業方法: 予習に基づき、小テスト及び練習問題の実践と解説、およびリスニング・リーディングの補足練習問題に取り組む。</p> <p>授業到達目標: TOEIC 各パートの出題形式や効果的な解法を習熟するとともに、TOEIC で出題される文法項目や語彙、表現の知識を整理・増強する。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>リスニング部門、リーディング部門からなる TOEIC の出題傾向を確認し、各パートの効果的な解法のポイントを把握する。ビジネスや英語圏での生活の様々な場面で用いられる表現や語彙、表現形式などの知識を増やすとともに、単元毎に取りあげられる文法知識を整理し、TOEIC の出題形式に沿った練習問題に取り組む。また毎回の授業で練習問題の一部を小テストとして出題する。</p> <p>第1回 オリエンテーションと教科書販売  第2回 TOEIC の概要と Part 別出題形式(1)  第3回 TOEIC の概要と Part 別出題形式(2)  第4回 TOEIC の概要と Part 別出題形式(3)  第5回 Chapter 1, 2: 英語のナチュラルスピード、勧誘・忠告・許可・提案・依頼等の機能表現(Part 2, 3 対策)  第6回 Chapter 3, 4: 文の「主部」、「述部」、「意味のかたまり(sense group)」  第7回 Chapter 5, 6: 主節と従属節、英語の語順と後位修飾  第8回 Chapter 7, 8: 不動産関連用語、質問内容の判断に基づく「脱形式」の応答表現(Part 2 対策)  第9回 Chapter 9, 10: 英語圏の単位表現、英語圏の地名  第10回 Chapter 11, 12: 動詞と目的語の対応、音の変化  第11回 Chapter 13, 14: 助動詞の過去形と仮定法、過去分詞(受け身)の用法(図表問題対策)  第12回 Chapter 15, 16: 英語の数の表現、Shadowing  第13回 Chapter 17, 18: 内容語・機能語の区別と強く読まれる語、「5W s &amp; 1H」(Part 2 対策)  第14回 Chapter 19, 20: 比較表現、英語の論理構造(「結論を先に、説明を後に」)  第15回 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	松岡 昇 <i>More Power for the TOEIC Test</i> (金星堂)		
成績評価の方法・基準等	定期試験	60%	
	小テスト	30%	
	授業への取り組み	10%(発表など)	
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			